



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 9 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 11 月～12 月
3. 出張目的 ため池現況調査、堆砂試験、試験ため池の施工及び
 土壌硬化剤の加工、試験、試験区での試験施工：B

4. 成果の概要

(アフリカ稲作普及)

実証調査対象村の水文観測装置のデータを回収し、降雨と水位上昇に関する分析を行った。ため池の漏水量を把握するため、ため池内に塩ビ管を立てて水位の観測を行った。堆砂抑制対策の効果を確認するため、対策施設に溜まった土砂の計測を行った。

実証調査のベースライン調査として、実証調査地域内の水稻栽培の収量調査を実施した。また実証調査で利用する灌漑用ポンプの調査を行った。実証調査で整備するほ場の詳細測量を実施し、必要土工量の算定を行った。

また、外部委員会の委員の現地調査に立ち会った。

(アフリカ稲作振興)

土壌硬化材の試験として、供試体の一軸圧縮強度試験を実施した。

また供試体について静的耐侵食性試験（乾湿繰り返し）と動的耐侵食性試験（スターラーによる試験）を実施した。

さらに、水蒸気養生による供試体の硬化について試験を行った。

試験区に試験水路を設置し、静的耐侵食性が認められた軽焼とオイルパーム練り込みのブロックについて現地における耐浸食性能の試験を開始した。

また、同水路において土水路の劣化進行試験を開始した。